

# 7月の園だより

令和元年7月1日  
小屋浦みみょう保育園



七夕は、天の川を渡って、織姫と彦星が一年に一度だけ会うことを許された日です。星座でいうと、織姫はこと座のベガ、彦星はわし座のアルタイルです。この二つの星は旧暦の7月7日に天の川をはさんで最も輝いて見えることから、七夕の物語が生まれたと言われてい

ます。七夕の夜、お子様といっしょに伝説の星を探してみるのも素敵ですね。

## 自分のことは自分でやってみよう

夏を迎える頃となり、水遊びやシャワーとともに着替えをする機会が多くなってきます。夏の初め、シャワーを終えても子どもたちが立ったままといった姿を多く見かけることがあります。

ご家庭ではお風呂あがり、子どもさんは自分で自分の体を拭いたり、自分で着替えをしていますか。拭き方のコツをちょっと教えてあげ、体を拭く練習を試みてください。毎日繰り返すうちに、要領もよくなり上手に拭けるようになります。「上手に拭けたね」と、声もかけてあげましょう。「自分のことが自分でできる」という喜びは、生活のいろいろな面においても、自信につながっていきます。



pixta.jp - 16458643

「今年の梅雨入りはまだ？」と、思っていたら先日6月26日、やっと中国地方も梅雨入りしました。統計開始以来、最も遅い梅雨入りだったようです。毎年同じように季節がめぐってくると安心もするのですが、しばらくうっとうしい毎日が続きそうですね。

昨年の豪雨災害から、早いもので一年が経とうとしています。地域では、復旧工事も進む中、「小屋浦にこんなものがあたらいいな」「小屋浦がこんなになったらいいな」と、地域の皆さんが意見やアイデアを出し合い、地域の復興に向かっていろいろな取り組みが行われています。皆さんの声が小屋浦の町づくりにつながっていくものと信じています。

先日、地域のおとしよりとのふれあい会が開催され、子どもたちといっしょに七夕飾りを作ったのですが、地域の方が「新しい保育園が早くできますように」と、短冊に願いごとを書いてくださっていました。地域の方々が保育園の再建を願い楽しみにしておられることをとても嬉しく思いました。

～模倣遊び、ごっこ遊びから～

「いらっしゃいませ～、おいしいですよ」と、エプロンをつけ、元気いっぱい声で友だちを誘います。ままごとコーナーの棚の上には、ジュースに見立てたチェーンが入ったコップや、お皿にブロックをのせたごちそうが所狭しと並んでいます。また、マグネットの玩具はおしゃれなイヤリングに変身し

子どもたちはすっかりお姉さん気分。

お気に入りのスカートもはき、おでかけごっこの始まりです。一方、乳児の保育室では、大人がしてくれる（口に食べ物を持っていく、抱っこするなど）ことを、大人やぬいぐるみにも同じように返し、そばにいる大人がそれに応じると、にっこりと笑顔になり安心した表情を見せます。普段、自分がしてもらっている行為を再現しているのです。

子どもたちは、身の回りで大人が使っている物や道具にとっても興味を持ちますし、自分の身近にいる大人の行為や身の回りで起きた出来事などは、とても興味深いことばかりなのです。ご家庭でも、よくまあこんなことに気づいたものだと思ってしまうことはありませんか。

このような模倣遊びやごっこ遊びは、子どもたちが意識してというよりも、人や物と関わる中で自然に生まれてくる遊びです。大人になってみたり、赤ちゃんになってみたり、お店屋さんになってみたり、いろいろな役になりながら、ふるまいや言葉遣いの幅も広がってくるように思います。友だちといっしょに遊びたいがために、自分の思いやアイデアを一生懸命相手に伝えようとしたり、でも時には自分の思い通りにはいかないんだということも経験もします。遊びをとおしてさまざまな場面でお互いをよく知り、相手を受け入れ、それでいて自分も主張できる関係は、遊びの基本ともいえると思います。

園長 舛野 裕子

## お泊り保育に行ってください (年長組)

7月25日(木)～26日(金)

山県郡北広島町の大自然の中で、高校生のボランティアさん、段原みみょう保育園、日出みみょう保育園、みみょう幼稚園、坂みみょう保育園の友だちといっしょにお泊り保育を楽しみます。近くの農園での収穫体験や、夜はキャンプファイヤーや花火、露天風呂での入浴等、貴重な楽しい体験をします。お家の人と離れ、いろいろな世代の人たちと過ごすことで協力することの大切さや自立心を育む機会になることと思います。

※6月29日(土)9:00から図工室にてDVDを見たりお泊り保育の説明会を開きます。年長組以外の保護者の方も是非ご参加ください。



## 安全に気をつけて登降園を!

現在、地域では、砂防ダムの建設、川の護岸工事、住宅の建設や改修、解体工事などのため、ミキサー車やダンプカーなどの工事用車両をよく見かけます。

車の往来の少ない道を通る、工事現場の近くでは、安全に配慮するなど、危険のないよう十分気をつけて登降園してください。

危険な箇所や安全な行動について、子どもたちにも知らせていきたいと思います。